

ピロリ菌の治療をしましょう！



ピロリ菌とは？

ピロリ菌は胃の粘膜に生息する細菌です。約40年前に発見されてから、様々な研究によって、ピロリ菌が胃炎や胃潰瘍、胃がんなどの病気に深くかかわっていることが明らかにされてきました。

ピロリ菌はなくなるの？

子どもの頃に感染し、一度感染すると多くの場合、**除菌をしない限り胃の中に居続けます**。ピロリ菌に感染すると、炎症が続きますが、この時点では症状のない人がほとんどです。

炎症が長く続くと、「**慢性胃炎**」の状態になります。慢性胃炎が長期間続くと、胃の粘膜の胃液や胃酸などを分泌する組織が減少し、胃の粘膜が薄くやせてしまう「**萎縮**」が進み、「**萎縮性胃炎**」の状態になります。

萎縮がさらに進んだ人の中には、「**胃がん**」になる人がいることが報告されています。

どうやって除菌するの？

健診結果を病院に持参し、医師に相談します。確定診断のために呼気検査や内視鏡検査等を受けます（省略されることもあります）。

除菌方法は主治医の方針にもよりますが、**抗生物質（抗菌薬）と胃薬を1～2週間内服**します。数か月後に除菌できたかどうかを検査にて確認します。

内服時はアレルギー症状、下痢等の副作用が出る場合があるので、その際は主治医にご相談ください。



参考文献：一般社団法人日本ヘリコバクター学会 H. pylori感染の診断と治療のガイドライン2016改訂版

【お問合せ先】

NXグループ健康保険組合 健康支援ユニット

Tel: 03-5962-3525

E-mail: kenkoushien@kenpo.nipponexpress.com